



尾花沢を背負って立つ学校～自分たちで創り上げるシン尾花沢中～

校長通信

輝け！シン尾花沢中

つたえゆかしい 校章よ おおむつましく 丘かげに

第149号

令和7年

12月19日

尾中生と同窓生が「幸せ」について語り合った日⑤～おもだか塾～

今号も「おもだか塾」の第1部における尾中生と同窓生の感想を紹介します。

■尾中生の感想

遠藤ひまりさん（1年）：今後の尾中生に期待することとして「自分が行動したことを他人のせにしないでほしいです」とおっしゃっていて、とても心に残りました。

三宅彩夏さん（2年）：「約束をしっかり守ること」「守れない約束はしないこと」「相手に対しても自分に対しても誠実に対応すること」が大切であると教えていただきました。

三浦海輝さん（3年）：「幸せは探すものではなく巡り合ったり感じたりすること」と教えていただき、幸せは身近に潜んでいると思いました。小さな幸せを活力に日々の生活も頑張りたいと思います。



■同窓生の感想

○自分と向き合い、良いことも悪いことも正面からぶつかつてほしい、一番は楽しいと思うことに全力で向かってほしい。そうすれば、尾花沢はこれからもっと花咲く、と思いました。

○自分の意見を人前でそのことを表現できることは、これから大切な力ですのでこのまま続けてほしいです。また、3年生のしっかりとした態度やリーダー力、フォローラーを感じました。後輩のいい見本で感心したところです。力を合わせていい尾中にしてください。

○尾中生が今の尾花沢市をどう思っているのかを知ることができ、とても貴重な機会となりました。本日、自分の考えを出させていただきましたが、少しでも今後の幸せを考えるきっかけになれば幸いです。夢に向かってたくさんチャレンジしてください!!

○私たちの時代よりも自分のことを良く考えていました。また、学年が異なっていても、お互いにフォローしながら話し合いをしている様子が素敵でした。自分が中学生だったときのことを興味深く聞いてくれてうれしかったです。母校のますますの発展を祈っています。

○3年生の生徒が「今が幸せなので中学校を卒業したくない」と話したことが印象的でした。他の生徒の様子からも楽しく充実した学校生活を送っていることが伝わってきました。大人に自分の考え方や思いをぶつける生徒の姿がとてもまぶしく見えました。

多くの同窓生の方が「楽しかった」「いい時間だった」とおっしゃってくださって「開催できてよかったです」と思ったところです。お忙しい中来校いただきました同窓生の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

【文責：校長 工藤雅史】